



第70回神奈川県医学検査学会

<https://med-gakkai.jp/jinringi70/>



参加費無料
事前申込不要

市民公開講演のご案内

超高齢化社会の中で 意外とあるホルモンの病気

2021年の厚生労働省の発表によると、現在日本人の平均寿命は男性で81.64歳、女性では87.74歳とさらに長寿社会となっています。「人生100年時代」といわれる今日、健康寿命を延ばしていくためにはどのようなことに気をつけていったらよいでしょうか。その中でホルモンの病気というとまねな病気と考えている方も多いと思いますが、意外と多いのを知っていただきたいと思います。

例をあげると老人性うつ病と診断されて長年治療していた甲状腺機能低下症の例、心房細動の治療がされていたがバセドウ病とわからなかった例、高血圧症で何年間も治療されていた原発性アルドステロン症、尿路結石を繰り返していた原発性副甲状腺機能亢進症、中年女性で肥満があったがクッシング病とわからなかった例、糖尿病の治療を何年間もしていた先端巨大症の例など、ホルモンの病気は意外とあります。また女性では毎日の家事、育児、仕事との両立、ストレス、睡眠不足、無理なダイエットなど、種々の要因で体の変動、とくにホルモン異常や自律神経失調症などをきたすことがあります。

皆さん、このコロナ禍で今まで以上にストレスがたまる大変な時代となりましたが、ホルモンの仕組みを知ってホルモンバランスを整え健康的な毎日を過ごしましょう！

講師:宮川 めぐみ (みやがわ めぐみ)先生

医療法人誠医会 宮川病院内科部長

職歴： 昭和52年3月 東京女子医科大学卒業
 昭和54年4月 東京女子医大内分泌センター内科助手
 昭和60年4月 東京女子医大非常勤講師、宮川病院勤務
 平成16年5月 虎の門病院健康管理センター勤務、健康管理室長を兼任
 平成17年4月 東京大学医学部腎臓内分泌内科非常勤講師兼任
 平成20年5月 虎の門病院内分泌代謝科医長
 平成30年4月 宮川病院内科部長

平成21年2月 厚生労働省管轄の原爆被爆者医療分科会委員
 平成23年9月 福島原発事故後の甲状腺検査県外専門委員
 平成25年1月 厚生労働省管轄の疾病障害認定審査会委員

専門領域：内分泌代謝学、とくに甲状腺学と超音波診断学



会期 2021年12月28日(火)～2022年1月10日(月)

会期の間、どなたでも無料でご視聴頂けます。

右上のQRコードを読み取るか、『第70回神奈川県医学検査学会』で
ご検索の上、学会大会サイトの『市民公開講演』よりご視聴ください。

主催 一般社団法人 神奈川県臨床検査技師会

実行委員長 関東労災病院 大谷 知広

副実行委員長 日本鋼管病院 逸見 賢一 けいゆう病院 佐藤 克亘

問い合わせ先 (一社) 神奈川県臨床検査技師会 〒231-0023 横浜市中区山下町51番地1 横浜読売ビル5F
TEL 045-212-2862 FAX 045-479-8884

